

【中学校第3学年の実践】

1 主題名

充実した生き方【A 向上心、個性の伸長】

2 教材

よりよく生きる喜びを 渡辺 和子（北海道版道徳教材（中学校用））

3 主題設定の理由【指導観】

(1) ねらいとする道徳的価値について【価値観】

向上心、個性の伸長は、自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求することに関する内容項目である。「自己を見つめる」とは、生徒が様々な行為をする主体である自己について深く省みることであり、その過程において一貫した自分の姿や将来像を思い描くことにつながる。また、「個性を伸ばす」とは、固有の持ち味をよりよい方向へ伸ばし、より輝かせることであり、「充実した生き方」とは、他者との関わりの中で自分らしさを発揮している生き方を求め、自分自身が納得できる深い喜びを伴った意味ある人生を生きることである。

第3学年の指導に当たっては、短所も自分の特徴の一側面であることを踏まえつつ、かけがえのない自己を肯定的に捉えさせるとともに、自己の優れている面などの発見に努めさせることが大切である。

そのため、今後の進路選択を見据え、他者との関わりの中で自分らしさを発揮し、前向きな取組を繰り返すことが必要となる。また、自分らしさや前向きな取組ができない自分について意識することから、個性を伸ばして充実した生き方を追求することのよさや大切さについて、多面的・多角的に考えさせることにより、自己の向上を図ることの意義を理解し、自分自身が納得できる深い喜びを伴った充実した生き方をしようとする実践意欲や態度を育てていきたい。

(2) 生徒の実態【生徒観】

自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする実践意欲や態度を育てるために、道徳の時間（H31からは道徳科）以外では、次のような指導を行っている。

①美術科「手作りに込める思い」

美術科「手作りに込める思い」で、自らの個性を発揮し、向上心をもって制作に取り組む指導を行っている。作品の構想を練る中で、生徒は、自らの個性を発揮し、表現しようと考えている姿が見られた。作品の構想が完成した段階では、他の生徒との意見交流を行い、気付いていなかった自分の作品の良さや個性に気付くとともに、自己の優れている面などの発見により、自分自身のよさを伸ばしていく姿が見られた。今後は、短所も自分の特徴の一側面であることを踏まえつつ、自己との対話を深め、自分自身のよさを伸ばすとともに、よりよい作品をつくらうとする実践意欲を育てたい。

②キャリア教育

学級活動において、望ましい将来の自分の姿を想像し、様々な上級学校の特色を調べることで、よりよい進路選択を行うための指導を行っている。学習を通して、自らの将来を考え、目標を見いだす中で、その達成のために、個性を伸ばしたり、自己の向上を図ろうとしたりする生徒が多く見られた。

今後の進路指導では、上級学校の体験入学や説明会に参加するなどの活動を通して、主体的に自分自身が納得できる進路を選択しようとする態度を育てたい。

(3) 教材について【教材観】

生徒が個性を伸ばし、自分らしい生き方を追求できるようにするために、渡辺和子が自分の生活に妥協せず、常によりよい生き方を求めて、新たな環境にチャレンジする様子や、失敗や困難に直面したときに自分の弱さや醜さに気づき、克服していく生き方などについて、広い視野から多面的・多角的に考えさせたい。

そのために、ボストン郊外での修道院での失敗談に注目させ、そのときの主人公の気持ちを交流することにより、壁を乗り越えるためには「つまらない仕事も意味のある仕事に変えていけばいい」という主人公の思いに気付かせたい。

まず、一つ目の発問では、主人公と同じような自らの経験について、生活の具体に即して考え価値理解・人間理解を深めさせる。次に、二つ目の発問では、和子のような生き方について、共感できるかどうかについて話し合い、多面的・多角的に考え、人間理解・他者理解を深めさせる。

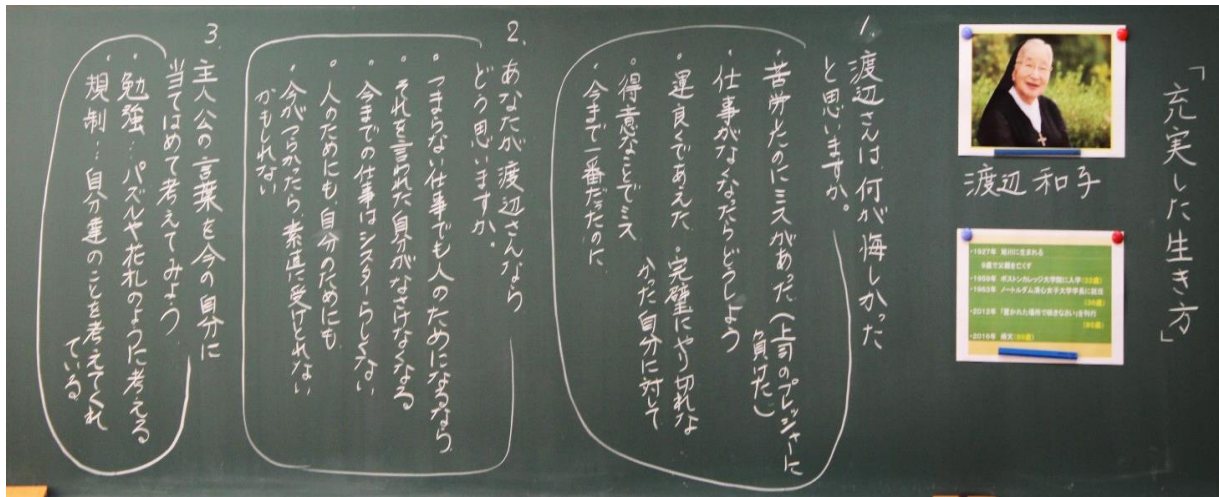
4 ねらい

渡辺和子の生き方に触れることを通して、自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする心情を育てる。

5 学習指導過程

	<ul style="list-style-type: none"> ●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問 ・子どもの反応 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導上の留意点 ■評価 	<p style="color: red; font-weight: bold;">「考え、議論する道徳」 に向けた工夫</p>
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 「向上心」をもって生活をしているか、2学期の個人目標を振り返る。 ○ 「向上心」をもって生活できていたか2学期の個人目標を振り返ってみましょう。 ・学習面では教科によって向上心に違いがある。 ・合唱の練習では、仲間と向上心をもって取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人目標カードを振り返らせ、ワークシートに記入させる。 	<p style="color: red; font-weight: bold;">【工夫①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活に課題意識をもって、本時に臨むよう、2学期の自らの生活を振り返る場を設定する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材「よりよく生きる喜びを」を読み、話し合う。 ○ 和子が、原稿校正のミスをして、涙を流した時、どのような気持ちだったと思いますか。 ・責任感をもってやってきたつもりだったので、悔しい。 ・もっと丁寧に点検をするべきだった ・この失敗を無駄にしないために、次の仕事に生かしたい。 ◎ 和子の「つまらない仕事も意味のある仕事に変えていけばいい。」という言葉から、あなたが学んだことは何ですか。 ・前向きな気持ちの大切さ。 ・小さなことでも頑張り続けることが成長につながる。 ・みんなのために、自分のよさを生かすことの大切さ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・和子と同じような自らの経験について、生活の具体に即して考えるよう、支援する。(価値理解・人間理解) ・ワークシートに書くよう、指示する。 	<p style="color: red; font-weight: bold;">【工夫②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材のもつ主人公の生き方のよさに加えて、主人公の弱さにも気付かせ、人間理解を深めるよう、生徒の発言を取り上げる。
開	<ul style="list-style-type: none"> ● 自己を見つめる。 ○ 和子のように投げ出したいと思っても、投げ出さずに取り組んでいることはありますか。また、どんな気持ちで取り組んでいますか。 ・勉強したくない気持ちを抑えながら、頑張っている。苦しいけど、後悔したくないと思っている。 ・数学が苦手な諦めたいと思うけど、少しずつ取り組んでいる。少しやる気が出てきている。 ・テレビが見たいけど我慢して、部活動の自主練習をするようにしている。自分の意思を強くもって満足感がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自己の向上を図ることの大切さについて、自らの経験を振り返って考えを深めることができたか。 ・学習や部活動、人間関係などこれまでの生活を具体的に想起させる。 	<p style="color: red; font-weight: bold;">【工夫③】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発言を予め想定し、道徳的価値を踏まえて黒板に整理して示すことにより、多面的・多角的な思考を促す。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ●教師の説話を聞く。 ●本時の感想を書く。 ○ 今日の授業で考えたことについて、感想を書きましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を通して、深まった自分の考えを書くよう、指示する。 	<p style="color: red; font-weight: bold;">【工夫④】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の向上を図ることの大切さについて、内面的な自覚を促すために、書く活動を取り入れ、自らの生活を振り返る学習活動を十分に確保する。
			<p style="color: red; font-weight: bold;">【工夫⑤】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いの意見を交流する場面を設け、よりよい生き方を求めていくように、意欲化を図る。

6 板書



7 ノート・ワークシート

1 主人公和子さんが原稿校正の仕事のミスをしたとき、涙を悔しくて涙を流しましたが、何が悔しかったと思いますか。

上司に「出来上り前にミス一つでもあれば、これが最後の仕事になると思ってくたされ」と言われていたため、自分がミスをした時、ずと責任を持って仕事をしていたつもりには、いたことに気がついたこと。

2 「つまらない仕事も意味のある仕事に変えていけばいい。」という主人公の言葉を今の自分に当てはめて考えてみましょう。

お風呂そうじ
 ↓
 自分がそうじをすることによって、これからお風呂に入る家族が気持ち良く、リラックスできると思っている。これからお風呂に入る一人一人のことを考えてそうじをするようにする。(人のことを考える)

3 授業の感想を書いてください。

自分の人生を充実させるためにも、つまらない事はとることを諦め、新しいことに挑戦して、仕事を行いたいと思いました。渡辺和子さんのように、自分のミスで悔し涙を流せるような、責任感のわかる、素晴らしい人になりたいと思います。単純作業の繰り返しでも行い続けたいです。
 ↓ そのために
 人と人チャレンジしよう!

1 主人公和子さんが原稿校正の仕事のミスをしたとき、涙を悔しくて涙を流しましたが、何が悔しかったと思いますか。

自分は責任をもて、苦勞をして、やと完成させたのに、ミスがあり、やり直しをさせられたことが、受け入れられなかったから。

2 「つまらない仕事も意味のある仕事に変えていけばいい。」という主人公の言葉を今の自分に当てはめて考えてみましょう。

部活
 二年生一人だけで残りが一年生だから、なかなか話しに行けず、絵を描くのは好きだけどつまらないと考えてきている。
 ↓
 上の先輩がいなくても、も、と一年生と仲良くなるという気持ちをもて、苦勞に取り組み、有意義なものになる。

3 授業の感想を書いてください。

勉強やさまざまなマをよく「めんどうさい」と思ってしまう性格を改めて直そうと感ずることができた。
 ↓
 つまらない仕事を発想を転換して意味のある仕事にする大切さを大事にしたいと思った。

【授業実践を振り返って】

自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする心情を育てることができるよう、発問や書く活動の他に、次のような工夫を行いました。

- ・主人公の生き方のよさについて考えを深める時間を十分に確保するため、教材を事前に配付し、生徒が教材の内容を把握できるようにした。
- ・生徒が主人公を身近に感じ、興味・関心をもって本時の授業に取り組めるように、ICT機器を活用して、主人公の人物紹介や年表提示を行った。
- ・教材を通して道徳的価値について理解する段階においては、登場人物の立場に共感できるように発問を工夫した。
- ・中心的な発問では、グループ交流を取り入れ、他者理解を深められるようにした。
- ・人間としての生き方について考えを深める段階においては、書く活動に取り入れ、生徒が自らの生活を振り返る時間を十分に確保した。